

## 2017年度 鉄道事業設備投資計画

### 持続的かつ力強い成長に向けて、**対前年比 13%増**の投資 安全対策、サービス向上、環境対策などに**総額 234 億円**

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:若林 久)では、お客さまの安全の確保、快適なサービスの提供を通じ、人にやさしい鉄道を目指しております。2017年度は総額 234 億円を投じ、安全対策、サービス向上、環境対策などの鉄道事業設備投資を行ってまいります。

#### 《2017年度の鉄道事業における、主な設備投資の概要》

##### 1. 安全対策

お客さまの安全の確保を最重要課題としてとらえており、ホームドア整備、内方線付き点状ブロックの整備を進めております。また、連続立体交差事業の推進、駅および橋りょうの耐震補強、法面の改良などの安全対策についても設備投資を行います。

###### (1) 駅ホームの安全性向上

- 池袋駅のホームドア整備工事の推進、内方線付き点状ブロック整備工事(9駅)の推進

###### (2) 新宿線連続立体交差事業の推進

- (事業中) 中井～野方駅間、東村山駅付近 (準備中) 野方～井荻駅間、井荻～東伏見駅間

###### (3) 地震対策の推進

- 駅および橋りょうの耐震補強を推進

##### 2. サービス向上

2016年度から導入している40000系車両を増備してまいります。有料座席指定列車「S-TRAIN」としても運行され、通勤だけでなく、観光などお客さまのさまざまなシーンで快適な移動時間を提供します。

また、さまざまな情報を素早く提供するため、「列車位置情報」などが分かるスマートフォン向けアプリの導入を予定しています。

さらに、所沢駅では、2018年春の完成を目指す「所沢駅東口駅ビル計画(I期)」として、既存の改札内から駅ビル商業施設へ直接出入りできる改札が新設され、駅・商業施設を含めた利便性が向上します。

###### (1) 車両の快適性向上

- 「人にやさしい、みんなと共に進む電車」40000系車両の増備

###### (2) 情報配信機能の強化

- スマートフォン向けアプリの導入

###### (3) 駅空間の快適性向上

- 所沢駅東口駅ビル計画(第I期)の開業、ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー化

##### 3. 環境対策

省エネやCO<sub>2</sub>排出量削減のために、駅や車両の照明器具にLED照明の導入などを引き続き進めます。

詳細は、別紙のとおりです。

【別紙】

## 1. 安全対策

鉄道事業では、お客さまの安全の確保を最重要課題としてとらえ、安全対策投資に重点をおきます。

### (1) 駅ホームの安全性向上

#### ・ホームドアの設置

ホームドアは、ホーム上からの転落や車両との接触を防止するための設備です。現在、ホームドア整備を実施している池袋駅について、2017年度は4番～6番ホームに設置します。また、1日あたりの乗降人員10万人以上の駅（将来の想定含む）について、2020年度を目途とし、ホームドアの整備を推進していきます。

【現在設置工事中の駅】池袋

【今後設置予定の駅】練馬、西武新宿、高田馬場、所沢、国分寺



<ホームドア設置イメージ>

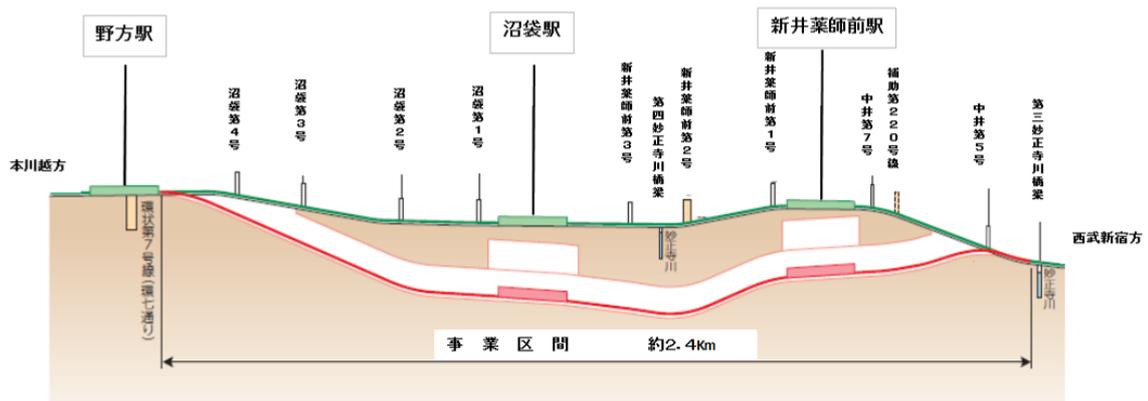
#### ・内方線付き点状ブロックの設置

2016年度に引き続き、1日当たりの乗降人員1万人以上の駅について、優先的に内方線付き点状ブロックの整備を推進していきます。また、これ以外の駅においても早期に整備できるよう、計画をしていきます。

### (2) 新宿線連続立体交差事業の推進

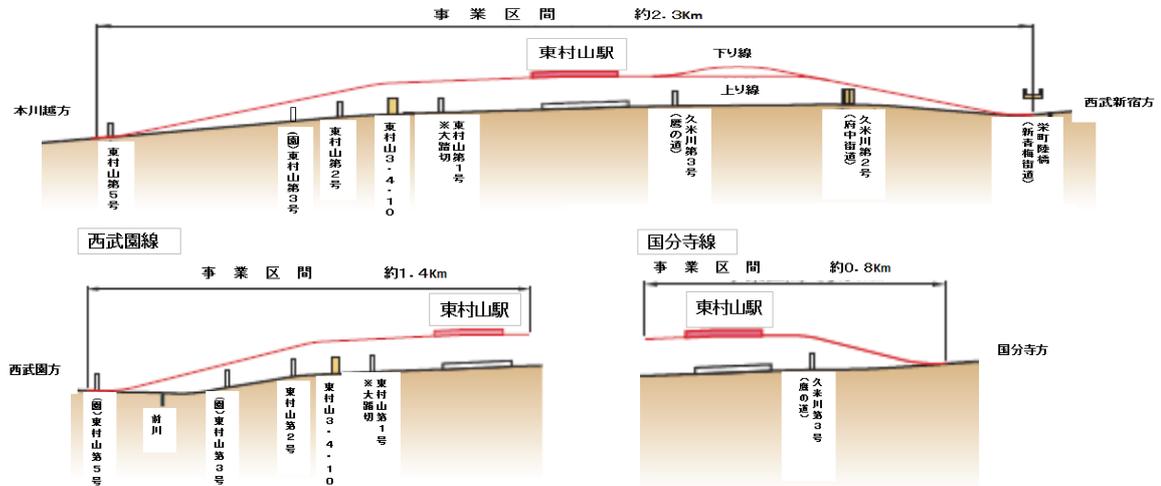
#### ・中井～野方駅間連続立体交差事業（地下化）

2011年8月に都市計画決定され、2013年4月に事業認可を取得、2014年1月に工事に着手しました。この事業が完成すると7カ所の踏切が除却され、踏切での慢性的な交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上、また鉄道により分断されていた地域の一体化が図られるとともに、連続立体交差事業を契機とした駅前広場などの整備が促進されることで、快適なまちづくりにも寄与します。



・東村山駅付近連続立体交差事業（高架化）

2012年10月に都市計画決定され、2013年12月に事業認可を取得、2015年1月に工事に着手しました。この事業が完成すると5ヵ所の踏切が除却され、踏切での慢性的な交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上、また鉄道により分断されていた地域の一体化が図られます。



・野方～井荻駅間および井荻～東伏見駅間、早期事業化に向けて準備中

2016年3月に東京都により新規に着工を準備する区間として社会資本総合整備計画に位置付けられた、野方～井荻駅間および井荻～東伏見駅間の連続立体交差化計画の早期事業化に向けて、事業主体である東京都や地元自治体と協力し、新宿線沿線の安全性・快適性向上に努めてまいります。

（3）地震対策の推進

・駅および橋りょうの耐震補強

国土交通省の指針に沿い、2017年度までに対象となる駅および橋りょうの耐震補強を推進していきます。

2. サービス向上

お客さまに快適にご利用いただけるよう、サービス向上の設備投資を進めます。

（1）車両の快適性向上

・40000系車両の増備

2016年度にデビューし、有料座席指定列車「S-TRAIN」としても活躍している40000系車両を4編成増備します。4編成すべてを「ロング・クロスシート転換」車両とし、快適な着席サービスの拡大を図ります。

（土休日）

[西武秩父/飯能⇄元町・中華街]

	S-TRAIN 2号	S-TRAIN 4号
西武秩父	発	17:05
飯能	発	9:18 17:50
人間市	発	9:25 17:58
所沢	発	9:37 18:12
石神井公園	発	9:50 18:27
(副)池袋	着	10:02 18:42
新宿三丁目	着	10:09 18:50
渋谷	着	10:15 18:56
自由が丘	着	10:26 19:06
横浜	着	10:45 19:28
みなとみらい	着	10:49 19:33
元町・中華街	着	10:53 19:38

[元町・中華街⇄所沢/飯能/西武秩父]

	S-TRAIN 1号	S-TRAIN 3号	S-TRAIN 5号
元町・中華街	発	7:01 16:55 19:55	
みなとみらい	発	7:04 16:58 19:59	
横浜	発	7:09 17:02 20:03	
自由が丘	発	7:27 17:21 20:22	
渋谷	発	7:37 17:32 20:31	
新宿三丁目	発	7:43 17:38 20:37	
(副)池袋	着	7:49 17:44 20:43	
石神井公園	着	8:03 17:59 20:57	
所沢	着	8:17 18:13 21:11	
人間市	着	8:29 18:26	—
飯能	着	8:37 18:34	—
西武秩父	着	9:15	—

（平日）

[所沢⇄豊洲]

	S-TRAIN 102号	S-TRAIN 104号	S-TRAIN 106号	S-TRAIN 108号
所沢	発	6:24 15:18 18:20 21:20		
保谷	発	6:37 15:28 18:32 21:31		
石神井公園	発	6:42 15:33 18:38 21:37		
飯田橋	着	7:06 16:00 19:04 22:02		
有楽町	着	7:16 16:10 19:14 22:11		
豊洲	着	7:24 16:18 19:22 22:19		

[豊洲⇄所沢]

	S-TRAIN 101号	S-TRAIN 103号	S-TRAIN 105号
豊洲	発	17:00 20:00 23:00	
有楽町	発	17:08 20:07 23:07	
飯田橋	発	17:18 20:16 23:16	
石神井公園	着	17:43 20:41 23:43	
保谷	着	17:47 20:46 23:48	
所沢	着	18:00 20:58 0:01	

（2017年5月11日現在の運行時刻）



## (2) 情報配信機能の強化

### ・スマートフォン向けアプリの導入

列車運行状況のプッシュ通知、および列車の現在位置などをお客さまご自身のスマートフォンで確認できる便利なアプリを導入します。さらに駅構内、周辺観光案内機能など、お客さまが西武線を便利に快適にご利用いただくための機能を搭載します。(iOS・Android 対応)

## (3) 駅空間の快適性向上

### ・所沢駅東口駅ビル計画(第I期)の開業

現在、当社では(株)西武プロパティーズと連携し、所沢駅の再開発を進めており、2018年春にはその第I期となる所沢駅東口の駅ビルが開業する予定です。新たにオープンする商業施設の北側へ直接出入りできる改札の設置等、次世代型の駅ビルを目指しております。

また、今回の計画は将来の西口開発計画も見据えながら、街の進化を促進させることをテーマとして、駅をご利用されるお客さまや近隣にお住まいの皆さまにとって利便性が高い「コミュニティ型の商業施設を中心とした駅ビルの開発」を進めています。



### ・ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー化

ひばりヶ丘駅北口については、西東京都市計画道路3・4・21号線整備事業の駅前広場整備に合わせてバリアフリー化を推進いたします。新たな階段に加えてエスカレーター及びエレベーターを整備し、2018年度完了を目指して進めてまいります。この事業完了により、お客さまにはより快適に駅をご利用いただけるようになります。

### **3. 環境対策**

引き続き、省エネルギー化などの環境対策に資する設備投資を推進します。

#### **・LED照明の導入**

LED照明は消費電力が低くCO<sub>2</sub>排出量削減の効果が期待できるため、駅や車両でLED照明の導入を進めております。2017年度は、高田馬場、上石神井、東大和市、仏子駅などの計20駅で照明器具の取替に合わせてLED照明を導入します。

以 上